



キャリアフォーラム



10月22日(土)に、キャリアフォーラムを開催しました。キャリアフォーラムでは、NPO法人TEAM 旦波(たにわ)のみなさまをはじめ、宮津高校出身のOB・OGを含むさまざまなキャリアをもつ講師の方々を招き、これまでの経験や自身のキャリアについて、熱く語っていただきました。

講師の方々はこれまでの人生の中で、生涯を通してやりがいのあることや好きなことをつきつめ、これまでになかった新たな仕事の在り方を模索することで、社会の第一線で活躍されています。自分自身の好きなことを仕事にするために、どのようなきっかけや挫折、葛藤があったのかをさまざまな立場から語っていただくことで、生徒はこれからの人生について視野を広げるきっかけになりました。また、キャリアフォーラムでは講演を聴くインプットの活動のみにとどまらず、自身の将来を展望したり、講師の方に質問したりといったアウトプットする

時間も多く設定しています。特に、Q&Aセッションでは、講演の内容を踏まえ、生徒の考えの変化やとるべき行動について、講師の先生方にフィードバックをもらいながら、考えを深めていました。

宮津学舎では、高校を卒業した後も生徒が自分自身の力で人生を切り拓いていけるような力や視野の広さを身に付けてほしいと考えています。これからも地域の方々と協力しながら、本物の生きる力の育成に力を入れていきます。

(以下、生徒からの感想)

『やりたいことを見つけるにはとにかく何でもやってみる』という言葉が印象に残っています。何事にも怖がらずチャレンジしようと勇気をもらえました。」

谷口春香 (HR24)

「自分の周りに落ちている『学びの種』をいかに育てるか、『浅く広く』も大事だけど核となる一つを決めることも重要だと思いました。」

野木貴文 (HR24)



「自分とは違う考えの方ばかりで自分の将来に向けて真剣に考えようと思いました。自分の好きなことを追求していき仕事にしている人や、逆に夢を半分あきらめて妥協している人がいて、いろんな人がいると思いました。」

高田夏鈴 (HR13)

「一人一人違う自分らしい生き方をしているらしやいました。辛いことがたくさんある中でも新しいことに挑戦する不安とどのように向き合うかという言葉が心に残りました。」

松本蘭樹 (HR11)

新生徒会発足

10月24日(月)、生徒会長選挙を実施し、2名の立候補者の中から東山綾さん(HR23)が生徒会長に選ばれました。これから1年間、宮津天橋高校宮津学舎の生徒会長として今よりもさらに学校全体をよくしてほしいと思います。以下、東山さんから、新生徒会長としての挨拶と抱負です。

「こんにちは。令和5年度宮津天橋高等学校宮津学舎の生徒会長になりました、東山綾です。私は2つの公約を掲げて立候補しました。1つ目は『日常の学校内外における気持ちの良い生活態度』を全校生徒で実現させることで、過ごしやすく、応援される学校にすることです。2つ目は『生徒会を意見が通る、主体的な組織にする』ということです。これらに加え、生徒会長として学校祭に象徴されるような、全員で1つのことに一生懸命に取り組むことができる場所や活動終了後に頑張ったよかったと心から思うことができる場所など、これまでの宮津学舎が引き継いできた目には見えない良い伝統をしっかりとつないでいきます。地域に根ざし、勉強・部活動・探究活動・地域貢献など、多くの人がそれぞれのことを充実、時には両立させ、さまざまな壁に協力して立ち向かいながら自らの道を切り拓いていく、そして何より『真剣の先の楽しみを実感できる学校』にしたいと考えています。1年間よろしくお願いいたします。」



与謝野町長との対談

10月28日（金）、宮津高校OBである与謝野町長 山添 藤真氏をお迎えし、今年で9回目となる与謝野町長との対話授業を行いました。当日は、町長からの持続可能な環境を守るための与謝野町の取組について語っていただいた後、生徒の質問を交えたディスカッションを行いました。

今回の対談では総合的な探究の時間で地域の課題について取り組む生徒や、将来生まれ育った地域への貢献に携わりたいと考えている生徒も多く参加しており、町長からの講話後のディスカッションの時間では、さまざまな質問が途切れることなく続き、それに対して町長は1つ1つ丁寧に答えてくださいました。

「地域についてより深い内容まで知ること、企業と住民と行政が三位一体となって『街づくり』に取り組んでいることがわかりました。普段話を聞く機会が少ない町長の、町への熱い思いがまっすぐに伝わってきて、自分も地域貢献できるような人材になりたいと強く思いました。」

城下琴美（HR34）



与謝の海支援学校との交流会

10月29日（土）、第34回丹後府立学校・与謝の海支援学校交流会に6名の生徒が参加しました。3年ぶりの開催となった今回の交流会では、宮津学舎は「共同絵画」を担当しました。今年度のテーマでもある「広げよう つながりの輪」を表した白黒の原画に、さまざまな素材の色紙を工夫しながら貼り、支援学校の生徒のみなさんと協力し素敵な作品を完成させることができました。また、「障害の学習」に参加した本学舎の生徒は、支援学校の生徒に教わりながら、ろくろでの湯呑みづくりも体験しました。全体会では、全員で手話歌をするなど、楽しく交流を深めることができました。また、お互いを尊重しあう大切さを学んだ交流会となりました。



海の京都サイエンスフェスタ

11月12日（土）、福知山公立大学において海の京都サイエンスフェスタが開催され、本学舎からも総合的な探究の時間での取組をポスター形式で発表しました。海の京都サイエンスフェスタでは探究活動を行っている北部地域の4校が集まり、それぞれの探究活動のこれまでの成果と今後の展望を交流しました。本学舎からは「丹後地域のタンポポの分布と分類、生態について」「オオカナダモの原形質流動」「金引の滝の生態系の調査」「人、川、ハッピー！～大手川の環境作りと生態調査～」「テーブルクロス引きの成功条件は何か」という5つのテーマで発表しました。先日、本学舎で行った中間報告会でも同級生や本学舎教員、大学教授をはじめとする講師の方々に意見をいただきましたが、生徒にとって他校の生徒からの意見にとっても刺激を受けた様子でした。今回のサイエンスフェスタを踏まえ、最終報告会に向け、さらに探究を深めていってほしいと思います。



硬式野球部が京都府の21世紀枠に推薦

第95回選抜高等学校野球大会「21世紀枠」の京都府推薦校に本校と丹後緑風高校の連合チームが選ばれ、11月14日（月）に本学舎で表彰式が行われました。硬式野球部は先日行われた令和4年度秋季京都府高等学校野球大会においてベスト8に進出したことに加え、部員不足など難しい状況を学校、教員、保護者、地域に支えられながら克服してきたことが認められました。表彰式において、主将の今井 琢己さん（HR22）は「京都府の代表として、これまでお世話になった先輩方や親族、地域の方々の応援に応えられるように、引き続き努力したい」と今後の抱負を語っていました。この表彰を糧にして、今後もさらなる活躍を期待しています。



オープンスクール

11月5日（土）に宮津学舎のオープンスクールを開催しました。当日は全体会での宮津学舎の紹介や入学者選抜などの説明の後、授業と部活動見学を行いました。中学生には、高校の自分の姿をイメージするとともに、宮津学舎の実際の雰囲気や体験できるように、建築科は製図の授業や施設の見学を、普通科は1年生の数学・国語の授業や3年生の英語の授業、それらに加えて宮津学舎の特徴的な取組である2年生の総合的な探究の時間を見学してもらいました。総合的な探究の時間を見学では、2年生の生徒からどのようなテーマで探究活動をしているのか、どのようなきっかけでテーマを決めたのか、あるいはどのように苦悩しているのかなど探究活動のありのままの姿について語ることを通して探究活動のやりがいや魅力を伝えてもらいました。



部活動の活躍

☆書道部
第69回日本学書展 第四部 特選 吉岡 里紗（HR23）
第42回近畿高等学校総合文化祭 出品 佐々木 清代（HR23） 橋根 琉伊（HR34）
第39回京都府高等学校総合文化祭 書道部門 優秀賞 吉岡 里紗（HR23）

☆美術部
第39回京都府高等学校総合文化祭 美術・工芸部門 優秀賞 小坂 響（HR35）
第47回全国高等学校総合文化祭 美術・工芸部門 出品決定 野村 心虹（HR22）

☆ボート部
令和4年度全国高等学校選抜ボート大会 近畿地区予選会
女子シングルスカル 3位 前尾 明里（HR24）
令和4年度全国高等学校選抜ボート大会 出場権獲得

前回の宮通第5号にて、大会成績に誤りがありましたので訂正させていただきます。
☆陸上競技部
第55回近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会 2年男子やり投 松本樹楽（HR25） 6位